

博物館ニュース

●博物館日誌抄(令和4年3月~8月)

3月

- 1日 企画展「釧路のまちと人~移り変わる風景とくらし~」12/18~3/20。サテライト展示「出区前・帰区後~SL冬の湿原号を支える人びと~」イオン釧路昭和局、2/1~3/21。
- 3日 サテライト展示「紙面で振り返る戦後・釧路~釧路新聞創刊75周年~」イオン釧路昭和、4/3迄。
- 4日 九州大科研費「ブレインストーミング」*。
- 5日 「タンチョウイラスト展」4/10迄。
- 6日 九州大科研費「キックオフシンポジウム」*。
- 7日 九州大科研費「総括班会議」*。
- 12日 「学芸員トーク」46名。新着資料ミニ展示「人面蛾~ヨーロッパパンガタズメが来るまでの道~」5/29迄。
- 16日 加藤・野本「釧路湿原自然再生協議会」。
- 17日 戸田・加藤・澤田「釧路湿原展望台視察」。
- 23日 「キタサンネット」。
- 26日 春探湖畔「花ごよみ調査」10/31迄。
- 31日 高嶋晃治館長ごども保健部に異動。戸田恭司学芸主幹定年退職。花田淳館長補佐音別生涯学習課に異動。佐藤加奈主事退職。

4月

- 1日 松本教館長住宅都都市部より異動。石川孝織学芸主幹に昇格。中谷洋之館長補佐釧路北陽高校より異動。戸田恭司主任再任用。伊藤友香主事国民健康保険課より異動。貞國「哺乳類調査」山花公園、3/31迄。加藤「春探湖畔植物調査」10/3迄。
- 5日 サテライト展示「カモにも事情がありました」イオン釧路昭和、5/31迄。釧路空港、5/11~31。
- 10日 加藤「北海道博物館協会学芸職員部役員会」*。
- 11日 城石「釧路大講義」7/25迄。
- 15日 加藤「北海道フラワーソン2022アドバイザー会議」*。
- 16日 企画展「シベリアン・サラマンダー~氷河期の小さなサバイバー~」7/3迄。「史跡北斗遺跡展示館開館」11/15迄。
- 16・17日 展示解説「ようこそ釧路へ」48名。
- 17日 春探湖畔「探鳥会」35名。
- 20日 貞國「ワニ類繁殖調査」。
- 21日 城石「釧路アイヌ協会総会」。
- 23日 戸田「釧路地方の地名を考える会総会記念講演」講師。
- 25日 貞國「オジロワシ繁殖状況調査」3/31迄。
- 26・28日 九州大科研費「計画研究C01打合せ」*。
- 27日 是川縄文館佐藤ちひろ氏・菊地智恵氏来所、資料調査。

5月

- 1日 「堅穴住居で屋根ふき体験」北斗遺跡、31名。
- 3~5日 「博物館で遊ぼう」330名。
- 6日 土屋「標茶町二ツ山昆虫相調査」9/21迄。
- 7日 加藤「植生学会編集委員会」*。九州大科研費「総括班会議」*。
- 14日 加藤「釧路学教養講座」。
- 15日 「探鳥会」34名。17日 友の会より「4階夕日ラウンジ」展示器具・映像ディスプレイ等寄贈。
- 19日 友の会「役員会」。澤田「虹別ポンチャシ調査」標茶。
- 21日 春探湖畔「草花ウォッチング」26名。加藤「植生学会運営委員会」*。
- 26日 「道東3管内博物館施設等連絡協議会役員会・総会」。
- 27日 加藤「北海道フラワーソン2022アドバイザー会議」*。友の会「総会」。

- 29日 初夏の「探鳥会」釧路町森林公園、30名。
- 6月
- 3~5日 九州大科研費「釧路調査」。
- 2日 松本・石川「釧路市社会教育施設等運営審議会」。戸田「釧路市地域史料調査研究専門委員会」。
- 6~8日 加藤「企画展「湿原の王国」資料調査・借用」札幌。
- 8日 サテライト展示「釧路の昆虫」イオン釧路昭和、7/31迄。
- 9日 城石「アイヌ民族文化財団「事業運営委員会」」札幌。
- 11日 しらべてみよう「春探湖の昆虫」4名。
- 12日 歴史探訪会「まちなみ散歩」中止。石川「台日礦業文化路国際交流検討会議」*。
- 18日 「草花ウォッチング」20名。
- 19日 山花サイクリングロード「探鳥会」26名。「秋葉令奈×橋本菜津美ミュージアムコンサート」34名。加藤「花ごよみチームフラワーソン調査」。石川「つなぐ道 完成お披露目ステージ講演」。
- 22日 野本「春探湖ヒブナ産卵調査」。
- 30日 戸田「仙台藩元陣屋資料館友の会視察研修調査」。加藤「浜中町資料借用」。

7月

- 1・2日 釧路湿原の鳥しらべ隊「講習会」11名。
- 2日 夏の夕暮れ「探鳥会」広里、18名。城石「阿寒湖ヒメマス祭り」。
- 3日 シンポジウム「キタさんトーク~発見!氷河期の小さなサバイバー~」西川完途氏他3名、50名。
- 5日 チームシメエナガさんより30万円寄贈。
- 6・7日 九州大科研費「釧路調査」。
- 8日 城石「釧路市教員研修講座」。城石「アイヌ文化でつながる博物館等ネットワーク」(ブナカ)運営委員会*。
- 9日 企画展「湿原の王国・道東」10/16迄。春探湖「汽水のいさものの観察会」中止。
- 9・23日 釧路湿原の鳥しらべ隊「調査」9名。
- 13日 加藤「北海道博物館協会学芸職員部役員会」*。職場安全研修。(講師:釧路コールマイン江口氏)
- 16日 「草花ウォッチング」20名。石川「鹿之谷ゼミナール」出張。
- 17日 「探鳥会」夕張。「道みんの日」無料開館。
- 26日 「ミュージアムキャラクターアワード2022」9/8迄。
- 27日 まちなか企画展「さつもん時代のあれやこれ」遊学館他6ヶ所。常設展示探検「はっくんからのちょうせんじょう」。
- 29日 土屋「蝶のハネ標本をつくろう」標茶博。友の会「研修会」。
- 30日 「クワガタムシの樹脂封入標本づくり」34名(8/6迄)。「はくぶつかんたつやすみイベントinイオンモール釧路昭和」27名。石川「鉄道写真展「道産子列車の旅路」トークショー」おたのしげギャラリー。
- 31日 「ヤチボウス大作戦」12名。高橋・城石「アイヌ文化体験学習講座バスツアー」。

8月

- 1日 サテライト展示「釧路市100周年記念「100年の歴史を超えて」」イオン釧路昭和局、8/31迄。
- 2・3日 城石「アイヌ文化普及啓発セミナー・木綿衣資料調査」札幌。
- 3日 サテライト展示「湿原の王国・風景編」イオン釧路昭和、9/30迄。
- 5~8日 加藤「「令和4年度重要生態系モニタリング推進事業(陸水域調査)」合同調査・意見交換会」日光。
- 6日 澤田「釧路学教養講座」北斗遺跡。
- 7日 「春探湖ジオツアー」七山太氏他2名、37名。城石「白糠ふるさと祭り」。
- 7・14日 土屋「クワガタムシの樹脂封入標本づくりin鶴居」。
- 9日 加藤「根室市文化財調査委員会」。「はっくんの日」。
- 11日 「山の日にお供え山に登ろう」51名。

- 12日 城石「ブナカラ研修部会議」*。
- 13日 「春探湖の昆虫」19名。
- 16日 貞國「釧路湿原のクイナ類生息状況調査」10/31迄。
- 16・17日 土屋「巡回企画展「北海道のオサムシ」資料調査・昆虫常設展示更新打合せ」札幌。
- 19日 貞國「釧路総合振興局道営農業農村整備事業等環境情報協議会」。
- 20日 「草花ウォッチング」中止。探訪会「北斗遺跡と古代のくらし」10名。
- 20・21日 「塗って動く?!くしろのいきもの大集合!!」イオン釧路。
- 21日 「探鳥会」39名。
- 23・24日 土屋「釧路湿原の水生昆虫生息地調査」。
- 24日 石川・加藤「釧路市社会教育推進会議策定部会」。城石「春探コタンまつり」撮影。
- 26日 「博物館実習」9/2迄、5名。
- 27日 「霧多布湿原観察会」8名。
- 28日 「まちなみ散歩」幣舞町・南大通、8名。友の会「学習会」。
- 30日 城石「アイヌ文化普及啓発セミナー」東京。
*オンライン開催。

●博物館

【出前授業・職場体験等】3/1鶴野特別支援学校。3/3美原中。4/19・6/3・7/20城山小3年。4/28別保小6年。5/17・18、6/7・9、7/5釧路大附属義務教育学校6年。5/22・6/25釧路大。5/27青陵中1年。6/2知方学小5・6年、大衆毛中1年。6/8桜が丘中1年。6/9厚岸中2年、春採中1年。6/18・7/2東京農大。6/30城山小1年。7/6釧路大。7/13釧路小4年。7/16釧路短大。7/27池上学院高。【資料寄贈】川端康正:勲章授与証、従軍記事等4点。北岡義博:ナガガキ4点。窪田幸三:シマフクロウ剥製。JR北海道:キハ40形車両部品5点、行先標。鳴海和子:植物化石5点、【資料借用】白糠町:地図(上茶路)。浜中町教育委員会:植物写真アルバム。北海道大学総合博物館:キク科Leontodon属26点、道東産植物標本44点。【資料貸出・撮影等】朝日新聞出版:東釧路貝塚出土環状石製品画像。イオン釧路昭和局:絵葉書11枚。石川県立歴史博物館他2団体:網針等アイヌ民族資料7点。NHKエデュケーショナル:ダルマ式ストープ画像。セツワールドクリエーション:雄別鉄道写真。釧路江南放送部:2階常設展示室撮影。釧路市観光振興室:鏡台等15点。釧路市公園緑化協会:鳥獣剥製、昆虫標本、図鑑。釧路総合印刷:パチパチ画像。釧路地方の地名を考える会:釧路市区街図(大正10年)、釧路区詳図(大正11年)。小松利民:シベチャマルハキバカ標本画像。千田喜博:ハネカクシ類標本67点。中西出版:釧路空襲被災写真。中村和之:首飾り、モウル。八戸市是川縄文館:壺型土器(幣舞遺跡出土)画像。平凡社:北斗遺跡画像。北海道建築士会釧路支部:太平洋炭礦社模型3点、東北北海道新聞2点、釧路新聞10点。北海道新聞釧路支社:太平洋炭礦絵葉書等3枚。北海道立北方民族博物館:床ヌプリ作「カムイミナタ」レリーフ画像。横川裕一:陸軍愛国号並びに献納感謝状展示風景画像。吉川弘文館:仔熊用背中当て(ポンバケ)画像。(五十音順・敬称略)

●入館者(2022(令和4)年3月~8月)

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
●一般	748	819	1,542	1,099	1,261	2,329
●団体	0	15	109	33	56	7
●高校生	17	11	28	10	13	54
●小中学生	92	143	231	95	182	419
●55パス	7	3	11	13	14	11
●無料入館者	689	663	1,457	745	1,411	1,346
計	1,553	1,654	3,758	2,047	2,955	4,184

2021(令和3)年度入館者数:20,275名